

しぜんきょうしつ あらわ 自然教室に現れる

いろいろ 色々なトンボたち！

三浦トビックス

第103号

自然教室の様子
(68)

発行者
清泉小学校
自然教室



ウスバキトンボ



コシアキトンボ



ギンヤンマ



オニヤンマ

ショウジョウトンボ



自然教室で春から一番よく目にするトンボは、51号で紹介したシオカラトンボとムギワラトンボですが、夏を迎えてその他のトンボも目立つようになってきました。池や沼を飛び回っているのはコシアキトンボです。パンダのような白黒模様のトンボですが、腹部(腰)の白い部分が空いているように見えるのが名前の由来です。この白い部分を電灯に見立てて電気トンボと呼ぶ地方もあるそうです。いずみ広場を飛び回り、赤とんぼと間違えそうなのがウスバキトンボです。熱帯・亜熱帯に生息し、世代交代しながら日本を北上するそうです。お盆のころにたくさん現れるので精霊トンボ、盆トンボとも呼ぶそうです。理由は分かりませんが、昨年、今年とオニヤンマをたくさん見かけます。今年は、さらにギンヤンマもたくさん飛んでいます。79号で紹介したショウジョウトンボは、オスの縄張りがあるそうで、沼と田んぼにそれぞれ一匹ずつ飛び回っています。